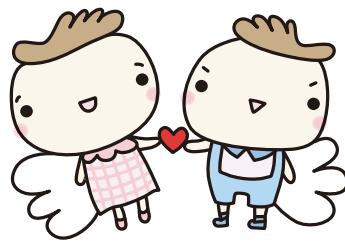


てとく。

tetate



虎信さん（91歳）

昌子さん（87歳）



「いつもケンカしてばかりだけどお互いなくてはならない存在。これからもお互い支え合っていきたい。」と撮影中も終始笑顔のお2人。昔の思い出も話してくださいました。

お2人から年を重ねるすばらしさを教えていただいた時間でした。

9月18日は敬老の日。

みなさんも日頃の感謝を伝えてみませんか？

写真：地域の仲良しご夫婦

特 集

災害時に命を守るために ～各地で進められる普段からの取り組み～



寺倉自治会

災害時に避難行動要支援者（※1）を誰が助けに行くかを決め、防災訓練では一緒に避難するところまでを行っています。実際に避難することで、どのような支援が必要かが分かりました。



被災地からは、寝たきりの方や障がいのある方の避難支援を行う際に、「初めてその方に関わり戸惑った」という声が聞かれます。顔なじみの関係になっておくことで、要支援者の安心につながります。また事前にどのように支援するかを確認し、訓練をしておくことも大切です。



近江さくらが丘自治会

民生委員からの声かけのもと、名簿をもとに自治会長や防災関係者と一緒に一人ずつ聞き取りを行い、火災報知器を設置しました。関係者と活動することで連携が強まりました。



各種取り組みは、自治会内で協力しながら進めることができます。災害時のスムーズな避難支援にもつながる、普段の見守り活動を進めるためにも、関係者との連携は不可欠なものです。

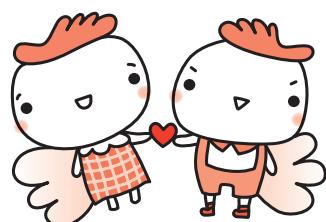


災害時に命を守るために

各地で進められる普段からの取り組み

地震、豪雨、火災、大雪：

近年、全国各地で災害が多発し、今年に入つてからも多くの尊い命が犠牲になっています。被災地からは、「隣近所で助け合うしかなかつた」「そこにいる者でなんとかするしかなかつた」「外からの支援を待つていては間に合わない」といった声が聞かれます。今回は、災害時に助け合える地域を目指し、各地で展開される取り組みをご紹介します。



※1 避難行動要支援者とは

高齢者、障がい者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方（要配慮者）のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方…災害時に手助けが必要な方のことです。



上丹生自治会

土砂災害警戒区域である上丹生自治会では、災害は決して他人ごとではありません。1人で逃げられない方に避難してもらうには誰が誰を連れて避難するのかを決めていく必要があります、地域住民にもそのことを理解してもらい、全員で助け合うしくみ（避難支援体制）を整えました。

災害時の助け合いについて



自治会役員など、自治会内の一部の人たちだけでなく、災害時にはすべての人が助け合うことが必要です。そのことからも、住民の方々の理解を深める取り組みを進めることはとても大切なことです。



近江母の郷ニュータウン自治会

積雪時、名簿（※2）を活用して、対象者の御自宅に担当自治会役員、民生委員で除雪を行いました。除雪を通して顔なじみになり、普段からも会話をするようになりました。



日頃の困りごとを通してお互い顔なじみの関係ができ、そうした関係は災害時などのいざという時の対応にも力を発揮します。

※2 避難行動要支援者名簿とは

災害時に避難支援を必要とする方で地域への情報提供に同意いただいた方の名簿を市が作成し、地域に提供することで、平常時の見守りや災害時の支援体制づくりに役立てるものです。

皆さんいかがでしたでしょうか。
米原市内ではこの他にも、災害時に命を守るための様々な取り組みが展開されています。
災害が発生してから考え、行動していくには対応できません。事前の備えを行つておくことが必要です。
日常からの備え、関わり、つながりが地域の防災力を向上させます。また、災害時に特に支援が必要な方は、普段から何らかの支援を必要としている場合が多くあります。
防災をテーマに取り組みを進めることで、地域の防災力を向上させる一方、普段の暮らしの困りごとの解決にもつながります。
皆さんの地域においても出来ることから始めてみませんか。社会福祉協議会も一緒に取り組んでいきたいと思いますので、是非お声掛けください。

福祉活動団体・当事者団体長懇談会

～団体同士がつながって、一緒に活動推進を～

市内には長年に渡り様々な福祉の取り組みを進める、福祉活動団体や当事者団体があります。今回その団体の代表者にお集まりいただき、情報意見交換を行う懇談会を開催しました。

懇談会では、お互いの取り組みに関する情報交換や、活動を通じて感じている課題、取り組みへの想い等について、お話しいただきましたので、ご意見の一部をご紹介します。



米原地区更生保護女性会
一般公開ケース研究会にて

福祉活動団体

米原地区更生保護女性会 会長 桂 恵美子 氏

活動を継続するために「自分のために楽しめる」そういったことを知る機会をみんなでつくりていければと思います。

米原市ボランティア連絡協議会 会長 中川 哲夫 氏

これから新ボラ連になって、イベントや講演会からはじめていこうとしているので、交流の場面・研修を各団体で協力しながら広くしていきたいです。

米原市赤十字奉仕団 委員長 田中 三恵 氏

団体間での横のつながりは必要だと感じます。赤十字奉仕団としても男性団員を募集しているので、団体同士のつながりで募集できればと思います。

米原市老人クラブ連合会 会長 瀬戸川 恒雄 氏

花いっぱい運動は、老人クラブだけでなく、学校や地域など一緒に花を育てたり、花を植える指導をしてくれる人を募集しているので、こういった活動のなかでも連携を深めていきたいです。

当事者団体

米原市視覚障害者福祉協会 会長 廣瀬 正美 氏

災害の備えとしての避難訓練についても視覚障害への対応や配慮も知ってほしいから地域の皆さんと共に勉強会を開きたいです。

精神障害者および家族の会 あざみの会 会長 山口 伊三 氏

活動内容は、会員同士でゲームをしたり学習会をしています。いろんな人が参加して、ゆっくりなペースで交流をしながら広げていきたいです。

米原市母子福祉のぞみ会 会長 塚本 恒子 氏

現在、離別による一人親が増えているので、いろんな場所でそのようなひとり親の情報を得ながら、その家庭に合った支援を広げていきたい。

メンタルピアサポート協会滋賀ぼちぼち 共同代表 伊夫伎 陽一 氏

このように他団体との交流を通じて、活動としては仲間を増やしていくといきたいし、同じような悩みを抱えている人の居場所づくりをしていきたいです。

米原市手をつなぐ育成会 会長 南浮 久 氏

様々な情報を共有するこういった話合いの場自体が貴重だと思うので、これからも団体がつながり協力することが大事だと感じました。



米原市手をつなぐ育成会
京都水族館へおでかけ交流

懇談会ではたくさんの意見やアイデアがあふれ、すべてのご意見を掲載することはできませんが、多くの団体で会員の減少や高齢化等、共通の課題を持っておられました。また、一方で団体や地域でつながり支え合うことで、一つの団体ではできなかったことが、できるのではないかという可能性も見えた懇談会でした。

今後もこうした懇談会などを開催するなど、つながりづくりをすすめていきます。



ボランティアのネットワークを広げよう

平成二十九年四月から、山東・伊吹・米原・近江にあった各ボランティア連絡協議会が合併し、「米原市ボランティア連絡協議会」（以下、ボラ連）として新たな歩みを始められました。ボラ連の“今まで”と、“これから”についてボラ連世人の方々にお聞きしました。

今までどんな活動をされてきましたか？

ボランティアについての研修会や地域のお祭りへのボランティア協力などを実行してきました。ただ、正直なところ、メンバーの高齢化や、それにともない役員の負担などがでてきました。

また、ボランティアの活動者も、旧町にとどまらず広い範囲で活動する方も増えてきたので、いつまでも旧町のボラ連ではなく、合併し市ボラ連として新たな歩みを始めることになりました。



研修会の開催

しています。

ボランティア活動をしていると、米原市には他にもたくさんの方が活動されているのを感じます。

活動者が話し交流できる場があれば「そんな活動があつたんだ」と新たな気づきになりますし、「一緒に活動したらこんなこともできる」と幅も広がると思います。一人、一団体では実現できないようなこともできるようなネットワーク作りを目指し、米原市のボランティア活動がより活発になればいいと思っています。

樹木でいうと、根を伸ばし、幹の部分を太くしている状態です。

今後も無理をせず、わくわく楽しく、樹を生い茂らせていければと思っています。

皆さんもボランティ

新しい歩みを始めたといつても、何から進めていいのか正直模索中です。

でも「動くことが大切」と考え、先日は

「柏原こことやさん」におじやまして、場と人をつなぐヒントをいただきました。また九月には、湖南市ボラ連へ視察研修に行く予定を

ボラ連のこれからは？

現在のメンバーは、よし笛、朗読、傾聴など個人またはグループで活動している者が集まっています。

新しい歩みを始めたといつても、何から進めていいのか正直模索中です。

でも「動くことが大切」と考え、先日は

「柏原こことやさん」におじやまして、場と人をつなぐヒントをいただきました。また九月には、湖南市ボラ連へ視察研修に行く予定を



柏原こことやにて

【お問い合わせ先】事務局：米原市ボランティアセンター ☎ 55-3933

平成29年度 キャラバンメイト養成研修 ～認知症を学び地域で支えよう～

キャラバンメイトは、認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターを広く増やすため、地域で認知症啓発活動をしていただく人です。認知症の基礎知識やサポーターの役割を学ぶ講習を受講し、その後キャラバンメイトとしてご活躍いただける方を募集します。

日時：平成29年10月15日（日）9：30～16：15

場所：米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」（米原市新庄77-1）

受講料：無料（定員40名）申込締切：10月5日（木）

受講条件：認知症に関心があり、年3回以上ボランティアとしてご協力いただける方

※米原市外の方もご参加いただけます。

講師：米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」センター長 中村 泰之 氏

NPO結の家ケアプランセンター 認知症専門指導者 榎本 千代 氏

申込み先：米原市ボランティアセンター（☎ 55-3933）

会長就任御挨拶

この度、平成二十九年六月二十一日の理事会において米原市社会福祉協議会会長に再度選任いただきました。

皆様方には、平素から本会の地域福祉の推進に対しまして、深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

社会福祉法人制度改革の施行をうけて、法人に課せられた公益性・非営利性を確保する観点から、市民の皆さんに対する説明責任を果たし、より一層地域に貢献する法人として活動していくためには効率的・健全な活動を可能にするシステムがスタートいたしました。昨今の甚大な自然災害や子どもや若者が関わる悲惨な事件に直面し、地域の暮らしに目を向けるとき、明日と言わず、五年先十年先の地域の姿を心配する多くの声をお聞きする機会が増えている中、地域の課題を自分のこととして見つめ、その解決策を共に考え行動できるようになることが重要と考えます。そこで、社協が持つ相談機能や介護力、コーディネート力など幅広い専門性を磨き、地域の人や資源、各種団体組織を繋げる力を発揮して、職員が一丸となつて安心して暮らせる地域づくりを進めてまいりますので、今後とも、皆様方のさらなるご支援ご協力をお願い申し上げ就任のご挨拶いたします。



会長 吉田正子

社会福祉法人 米原市社会福祉協議会 役員

(敬称略)

役職	氏名	選任区分
会長	吉田正子	知識経験者
副会長	伊藤信義	知識経験者
理事	西秋清志	社会福祉に関する実情に通じている者
理事	清水理男	
理事	河居郁夫	
理事	吉野和雄	
理事	西堀正次	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者
理事	永田かおり	
監事	前田高司	
監事	古澤宏之	財務管理について識見を有する者

社会福祉法人米原市社会福祉協議会 評議員

(敬称略)

氏名	選任区分	氏名	選任区分
伊賀並正信	地域の福祉関係者	浦井正明	地域の福祉関係者
北居理恵		中川哲夫	
岡島智恵子		塚口清	
長谷川綱雄		中川貞夫	
黒田嘉子		西川敏輝	
福永ひろみ		木下孝治	
塚本恭子		室谷菊司	
重吉豊		伊藤治夫	
宮部道雄		竹中礼子	社会福祉事業を経営する団体の役職員
大野龍天		今井寛明	
酒井昭		中村正	
瀬戸川恒雄		大河内昇	
田中三恵		千種恵美子	法人経営に必要な識見を有する者
松居雅文		前川明廣	
有賀尚子		仲谷良徳	
前田義信			

苦情お受けします!!

米原市社会福祉協議会苦情相談委員のご紹介

社協が実施する福祉サービスについて、いやな思いをしたり、誰にも話せず悩んでいることはありませんか？

「なかなか社協の職員には言いづらい…。」

こんな時は、下記の苦情相談委員にご気軽に相談ください。

公平・中立の立場で助言・調整を行い、利用者が安心して利用できるよう設置された第三者委員です。苦情内容を伺い、利用者とサービス提供者との間に入り、解決に向けた相談・調整を行います。

(敬称略)

氏名	郵便番号	住 所	電話番号
長谷川辰幸	521-0224	米原市夫馬650	55-0453
山添久子	521-0083	米原市新庄77-1(ふくしあ)	51-9014
清水清市	521-0244	米原市大野木1319	57-0789
長尾龍秀	521-0307	米原市大久保1138	58-1141
林いと江	521-0016	米原市下多良56	52-1366
森勝昭	521-0062	米原市宇賀野854-3	52-2182

平成28年度 事業報告

「つながりで地域の暮らしを支える」の事業推進方針のもと、市民一人ひとりの自立した生活の継続を目指し、生活困窮者自立支援事業や介護保険サービス、市民主体の支え合い活動の推進など、更なる地域福祉の推進に向けて取り組みました。

また、平成28年度は社会福祉法人制度改革に対する準備として、評議員・理事など本会経営組織の見直しや、平成24年度にスタートした地域福祉活動推進計画の最終年度を迎える、今までの5年間を振り返るとともに、今後の事業推進に向けて協議を進めました。

1 地域をつなぐ活動

「まいばらまるごと交流会」を開催し、福祉の枠を越えたあらゆる活動者の参加を得て、多様化した地域や生活上の課題を共有したり、つながりを活かした活動展開を支援しました。

- ・相談支援
- ・広報・情報発信等の展開
- ・ネットワークの構築
- ・善意銀行
- ・福祉サービス事業者支援
- ・地域福祉活動拠点の活用
- ・当事者団体活動支援
- ・福祉活動団体支援
- ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金



まるごと交流会

2 地域の福祉力を高める活動

地域福祉懇談会や合同説明会等を通じて、地域の実情や課題を共有し、地域住民による見守り活動や支援を必要とする人への生活支援の取り組みを推進しました。

- ・ボランティア活動の推進
- ・小地域福祉活動の推進
- ・福祉学習の推進
- ・福祉介護人材育成



福祉学習（車イス体験）

3 暮らしを支える活動

利用者の要介護状態の改善、自立生活の継続等を目標に、個々の状況に応じた方法で支援を行いました。特に住み慣れた地域での暮らしを支援するために、制度の枠を超えたサービス提供や住民活動等を含めた地域資源との連携、各事業所と地域をつなぐ取り組みなど、サービスや拠点の地域展開に努めることができました。

権利擁護センターでは、成年後見制度等の学習会や、なんでも相談会等を開催し啓発、支援を行いました。また、生活困窮者自立支援事業においては、自立相談支援事業や生活応援事業（就労訓練事業）に取り組み、寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。さらに、市内の子ども食堂の開設準備や支援を行いました。



子育てサークル立ち上げ支援

- ・介護保険事業
- ・その他の生活支援
- ・地域福祉権利擁護事業
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・放課後児童クラブ
- ・介護予防事業
- ・障がい者福祉サービス
- ・生活福祉資金貸付制度・一時援護資金貸付制度
- ・子育て支援
- ・ファミリー・サポート・センター事業

4 災害に強いまちづくり活動

市民や関係機関が災害時に協力していくための研修会を開催し、方法や対応の仕方等理解を深めました。

また、地域防災計画に基づく個別避難支援計画の作成に向けた地域の取り組みを支援しました。

- ・小地域における災害対策支援
- ・災害ボランティアセンターの設置運営訓練



災害ボランティアセンター運営訓練の様子

5 推進体制の充実・強化

経営組織の見直しとして、評議員および役員体制等、第3者機関である「あり方検討委員会」からの答申を踏まえて改正しました。また、事業運営の透明性の向上を図るため公表に係る規程の整備等を行いました。

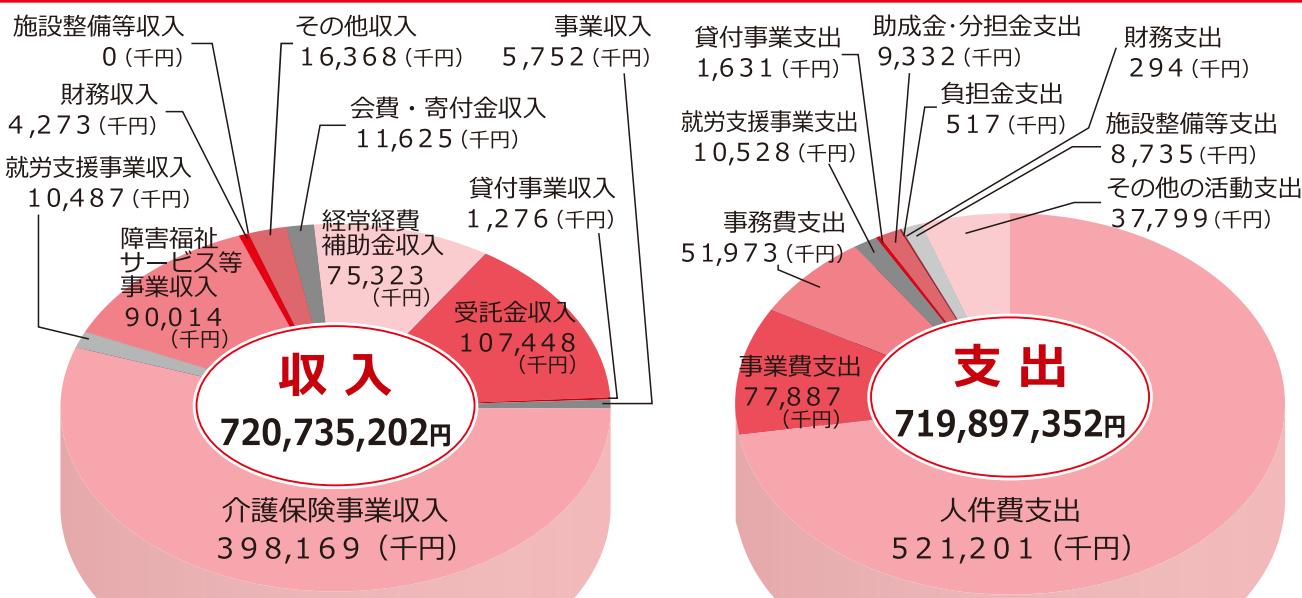
また、職員にとってより働きやすい職場環境をつくるため、職員の子連れ出勤やノー残業デーの実施、有給休暇の取得の奨励や、新たに永年勤続表彰制度の制定などに取り組みました。

- ・理事会・評議員会の運営
- ・情報公開と監査機能の充実
- ・人材育成・活用システムの確立
- ・財政の健全化
- ・経営安定化積立金



平成
28
年度

社会福祉法人米原市社会福祉協議会決算報告



共同募金運動が始まります！

皆さまのやさしさが米原市の地域福祉を支えます。今年も共同募金にご協力をよろしくお願ひします。



運動期間 10月1日～12月31日



- 戸別(世帯)募金…自治会を通じて協力を呼びかけます。
- 学校募金…幼保園、小中高の学校に協力を呼びかけます。
- 法人募金…企業、事業所に協力を呼びかけます。
- 街頭募金…駅前や店舗前、イベント会場で募金を呼びかけます。



みなさまからいただいた募金は、滋賀県内、米原市内の地域福祉に役立てられています。



視覚障がいの方へ広報を音により伝えます(音訳ボランティアグループ)



「手作り絵合わせ」は、地域サロンにも活用されます
(布絵本ボランティアグループ)



広報活動



「第11回米原市社会福祉大会」
米原市・米原市社会福祉協議会・米原市共同募金委員会共催事業

※上記の写真は共同募金の助成を受け活動されている内容の一部を紹介しています

県内の福祉施設の整備
や地域の災害活動に活
用されます



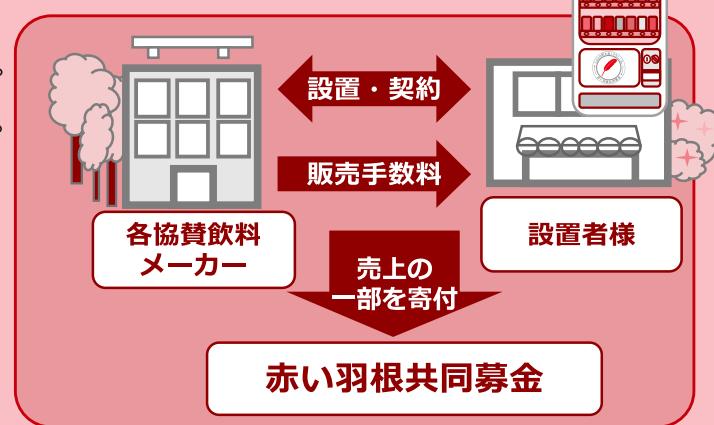
置いてみませんか？『じぶんの町（米原）を良くする自動販売機』

- 自動販売機の設置・管理は、無料です。
- 売上の一部が共同募金へ寄付されます。
- ご負担は、月々の電気代のみです。

自動販売機で飲み物を買う人も、設置する人も手軽に、地域貢献にご協力いただけます。

※詳しくは、お問い合わせください。

総務課：☎ 54-3105



*企業法人からの共同募金への寄付金は、法人税上「全額損金」となります。

*個人からの共同募金への寄付金は、所得税・住民税にかかる寄付金控除の対象となっています。

相 談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連携し継続的な相談支援を行います。

月～土曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。

<問合せ> 米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～12時まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員（身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります）

<問合せ> 米原市 くらし支援課（山東庁舎）TEL：55-8110

相談日	会 場	相談日	会 場
9月12日(火)	ルッチプラザ（長岡1050-1）	10月10日(火)	げんきステーション（下多良3丁目3）
9月26日(火)	やすらぎハウス（顔戸21-2）	10月24日(火)	愛らんど（春照56）

・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会 場	相談日	会 場
9月28日(木)	愛らんど（春照56）	10月26日(木)	やすらぎハウス（顔戸21-2）

料金 1,000円。時間は10時～12時まで、1回30分以内。

<問合せ・申込み> 米原市 くらし支援課（山東庁舎）TEL：55-8110

法律・福祉・高齢・障がいなど

＼なんでも相談会 in 米原／開催のご案内

みなさんが抱えている心配ごと、悩み、不安などについて弁護士・司法書士・社会福祉士・行政職員・社協職員他が相談をお受けします。

予約不要
相談無料
時間制限なし

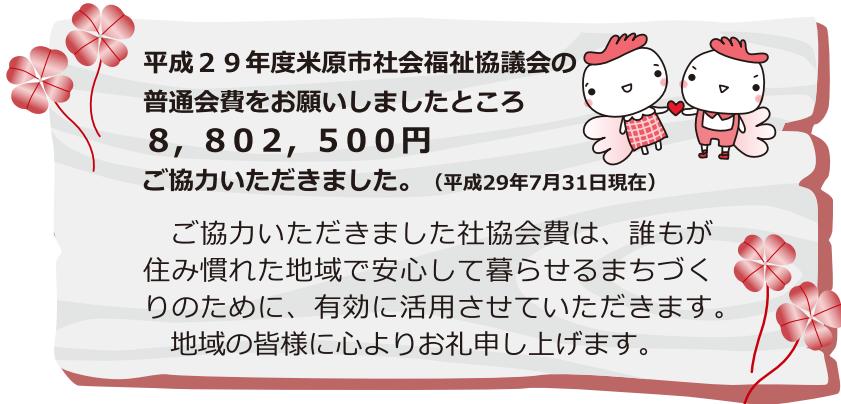
○日時：平成29年9月30日（土）13：30～16：30
(相談受付時間：13：15～16：00)

○場所：米原地域福祉センターゆめホール（米原市三吉570）

○対象：米原市在住の方

○お問合せ先：米原市社会福祉協議会 地域福祉課（相談支援担当）

TEL 0749-54-3105 FAX 0749-54-3115



善意銀行だより

平成29年4月1日

～平成29年7月31日

（敬称略）

〔金銭預託〕

扶桑工業株式会社	200,000円
匿名	50,000円
故 高木芳子	100,000円
長浜斎場ソニアホール近江	85,550円

〔物品預託〕

匿名	リハビリパンツ・介護食
長浜斎場ソニアホール近江	花の苗
匿名	掛け布団・シーツ
山口芳江	大判タオル・介護用エプロン
匿名	男性用下着・パジャマ
匿名	トイレットペーパー・尿とりパッド
真野 修	おはぎ
藤田 慶一	プリンターインク
おおはら農園どろんこばたけ	そら豆
匿名	サラダ油
匿名	タオル

※他季節のお野菜や果物をたくさんいただき、ありがとうございました。



扶桑工業株式会社 様



長浜斎場ソニアホール近江 様

今年も5月23日より、子育て中の悩みや喜びを仲間とわかりあえる様なサークル作りを目的に「こもち～ズ広場」を開催しました。『ハンドメイドのある子育て』をテーマにした今回の広場の様子をお知らせします♪

米原市のみなさんに役立つ子育て情報をご紹介

大きくな～れ

こもち～ズ広場

in やすらぎハウス



水引アクセサリー作り
なかなか難しい…。



絵本でお馴染みの手袋
人形作り。



in やすらぎハウス



最終日は、ボランティアさんの手作りお
もちゃで遊んだよ。
手作りおもちゃは温かみがありますね♪



ほのぼのクラブさ
んも、布ボール作
りをお手伝いくだ
さいました。
完成した布ボール
で一緒に遊んでも
らったよ☆



富岡先生のご指導
を受け、ミシンで
てぬぐい帽子作り。
てぬぐいが、可愛い
帽子に早変わり!!
余った時間で、ズ
ボンや巾着も作ら
れました。



今後は、サークル『ぐりとぐら』
として、行こ家のとせを拠点に
活動されることになりました♪

- 市内では他にもいくつかの子育てサークルが活動しています。
- サークルに入りたい方など下記
- 山東地域福祉活動センターまでお問い合わせください。

わが家のアイドル



中嶋凌玖
なかじまりく
ちゃん 2歳
5ヶ月

毎日元気いっぱいなりっくん!
新幹線と車が大好き☆変顔も得意だよ♪

各種事業に関するお問合せ・お申し込み・ご意見は、
下記の法人本部・各センターまで

法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL 54-3105 FAX 54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

山東地域福祉活動センター

米原市長岡1050番地1 米原市民交流プラザ(ルッチプラザ)内
TEL 55-3933 FAX 55-3933 m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹健康プラザ愛らんど内
TEL 58-1770 FAX 58-2231 m-shakyo-sishi@zb.ztv.ne.jp

米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL 54-3110 FAX 54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

近江地域福祉活動センター

米原市顔戸21番地2 近江地域福祉センター やすらぎハウス内
TEL 52-1463 FAX 52-8051 m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp
TEL 52-4393

発行：平成29年9月1日

社会福祉法人 **米原市社会福祉協議会**

〒521-0023 滋賀県米原市三吉570番地 米原市米原地域福祉センターゆめホール内

TEL 0749-54-3105 FAX 0749-54-3115

<http://www.maibara-shakyo.or.jp/>

この広報は一部赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

